

取扱説明書・施工説明書 —保証書付—

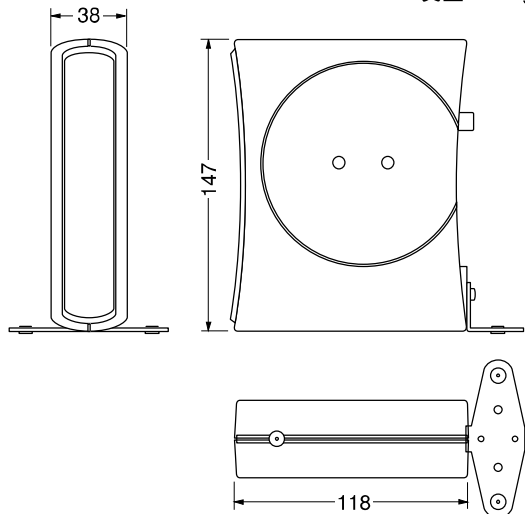
このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。

取扱説明書

外観および寸法図

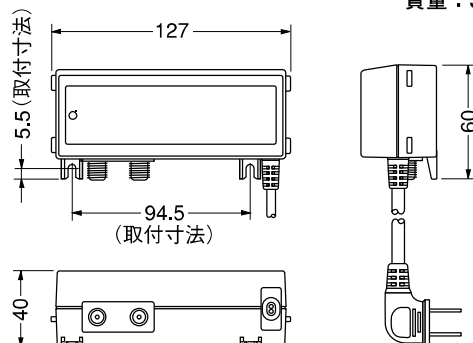
●本体

単位：mm
質量：350g



●電源部

単位：mm
質量：360g



屋内用 電波時計向け受信システム 輻射ユニット

Model STG40F/STG60F

目次

表紙

説明の始まる
ページ

〔取扱説明書〕

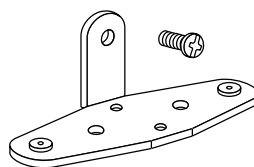
外観および寸法図	1
付属品	1
取扱上のご注意	1
メンテナンス	1
安全上のご注意	2
特長	2
標準性能表	3

〔施工説明書〕

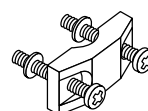
接続方法	3
電波の説明	4
設置場所・設置条件	4
設置方向	4
取付方法	4
設置確認	5
システム導入例	5
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法	6
保証書	6

付属品

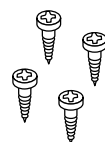
- 取付金具……………本体に必ず取付けてください。
- 取付サドル一式…アンカーボルト(φ5～φ13)取付時に使用します。
- 取付ねじ(4本)…壁面取付時に本体・電源部で使用します。



取付金具



取付サドル
(一式)



取付ねじ
(4本)

取扱上のご注意

電気工事には専門の資格が必要です。
取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

メンテナンス

年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」、「取扱説明書」、「施工説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	絵表示の例	
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
 注意		○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないで、指定の固定方法で取付けてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、同軸ケーブル重畳方式にて動作可能な機器は、表示された重畳電圧を供給してください。その際は電源プラグをコンセントから抜いてご使用ください。



●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



●万一、本器を落としたり、破損した場合には、電源プラグをコンセントから抜いて販売店工事業者にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●雷が鳴りだしたら、アンテナ線、機器には触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店工事業者に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



●本器の上面カバー（接続端子部・操作部カバーは除く）をはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店工事業者にご依頼ください。



分解禁止

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店工事業者に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店工事業者にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。（特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。）



注意

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となることがあります。



●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて外部の接続コード（アンテナ線、機器間の接続コードなど）、はずしたことを確認の上、おこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



特 長

1. ビル内や地下街などで電波が遮断され、電波時計の受信が難しい場所で標準電波を再輻射するシステムで使用する機器です。
2. FM変調された標準電波の信号を復調し、内蔵アンテナより再輻射します。
3. 室内設置で半径約5m程度の輻射が可能です。
4. 40kHz (STG40F) または60kHz (STG60F) の電波に対応しています。
5. 付属の電源部より、標準電波の信号とDC電源を同軸ケーブル1本で伝送しますので、本体の設置が簡単におこなえます。
6. 付属の取付金具、取付ねじを使用し取付場所に応じてご使用いただけます。
7. 輻射モニターにて現在の電波状況が確認できます。
8. 再輻射する電波は、電波法第4条で定められた免許のいらない無線局（発射する電波が著しく微弱な無線局）に該当します。

標準性能表

項 目	仕 様	備 考
型名	STG40F (40kHz用) / STG60F (60kHz用)	
輻射信号	長波標準電波	40kHzまたは60kHz
輻射可能範囲	半径約5m	
入力周波数 (MHz)	75	標準周波数
入力信号形式 (kHz)	FM変調 偏移±50	
入力レベル (dBμV)	45~85	
入力インピーダンス (Ω)	75	F型
重置電源 (V/mA)	DC15V/80	
消費電力 (W)	3.0 ※	
使用温度範囲 (℃)	-10~40℃	本体周囲温度
設置形態	縦置き	
取付方法	縦置き、壁面	

※ 電源部 NPS-15F (J) 接続時の値

●付属電源 NPS-15F (J)

項 目	仕 様	備 考
伝送チャンネル (ch)	FM・1~62	
挿入損失 (dB)	1.0以下	
電圧定在波比	1.5以下	
入力・出力インピーダンス (Ω)	75	F型
電源 (V/W)	AC100 (50/60Hz) / 6.0	
重置電源 (V/mA)	DC15 / 最大150	
使用温度範囲 (℃)	-10~40℃	本体周囲温度

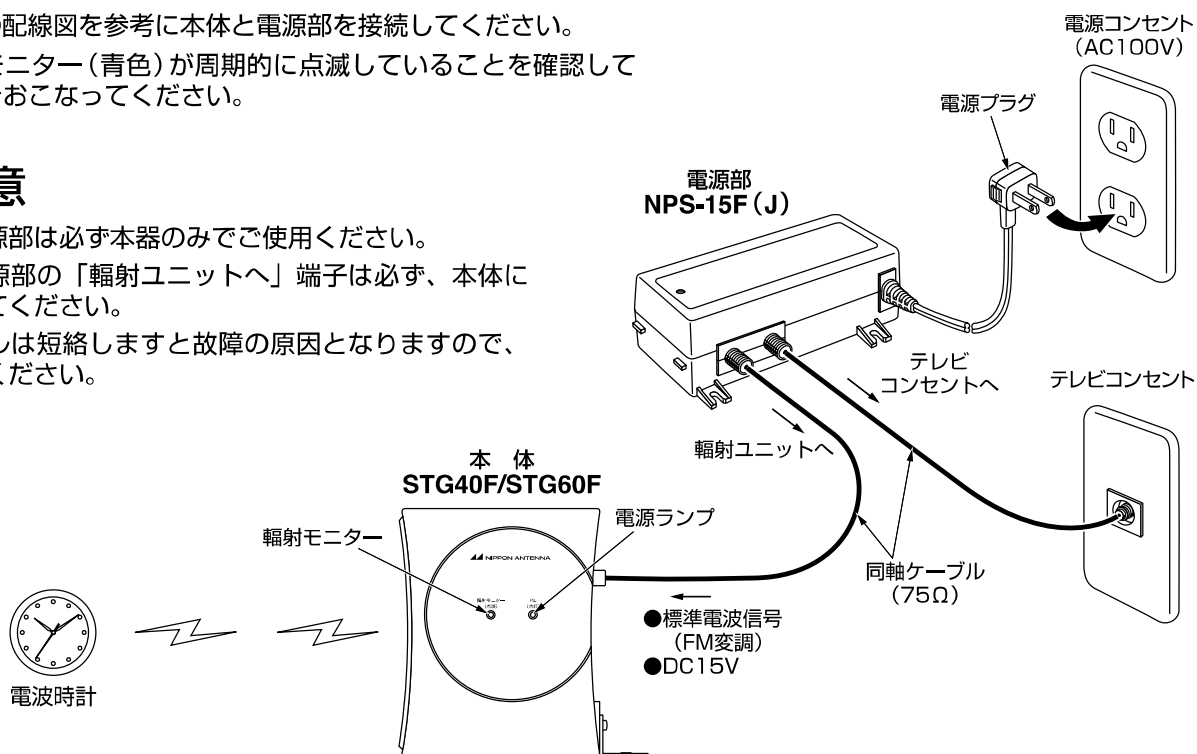
施工説明書

接続方法

1. 下図の配線図を参考に本体と電源部を接続してください。
2. 輻射モニター (青色) が周期的に点滅していることを確認して設置をおこなってください。

⚠注意

- 付属電源部は必ず本器のみでご使用ください。
- 付属電源部の「輻射ユニットへ」端子は必ず、本体に接続してください。
- ケーブルは短絡しますと故障の原因となりますので、ご注意ください。

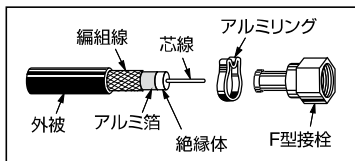


同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（別売品）

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称

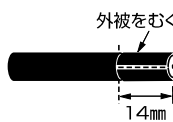


ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。（※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

●F型接栓締付トルク 2.0N・m（約20kgf・cm）

- ① カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1mm程度）



- ② 外被をむき、アルミリングを通しておきます。



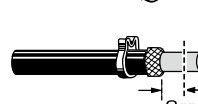
- ③ 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。



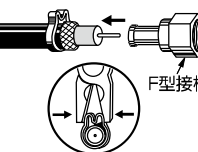
- ④ 編組線をめくりあげます。



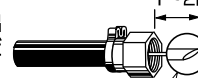
- ⑤ 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。



- ⑥ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



- ⑦ 芯線の先端は1～2mm出し、斜めにカットしてください。



芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。

芯線は斜めにカットすると挿入しやすい



注意

加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

お客様窓口専用ダイヤル

(03) 3893-5243

ご利用時間 9:00～18:00（土・日・祝祭日・弊社休業日を除く）

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03) 3893-5221（大）

（ホームページアドレス）<http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

0891001602 平成21年4月

保証書

型名	STG40F/STG60F	製造番号	
お客様	お名前		
	ご住所		
	電話番号 ()		
お買上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号		
	年 月 日		
保証期間（お買上げ日より）	本体1年		
	（但し消耗品は除く）		

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。なお弊社支店・営業所・出張所は別紙の店所一覧をご覧ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - ① 無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。
 - ② 修理対象品を直接当社支店・営業所・出張所まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理をおこなった場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。

2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ① 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ② お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③ 火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
 - ④ 海岸付近、温泉地などの地域における公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
 - ⑤ ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
 - ⑥ 異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
 - ⑦ 用途以外で使用した場合の故障および損傷。
 - ⑧ 塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑨ 消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
 - ⑩ 日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
 - ⑪ 本書のご提示がない場合。
 - ⑫ 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This Warranty is valid only in Japan）
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。